

中央アジア最貧国のタジキスタンにとっての「一带一路」構想—エネルギー分野で拡大する中国の存在—

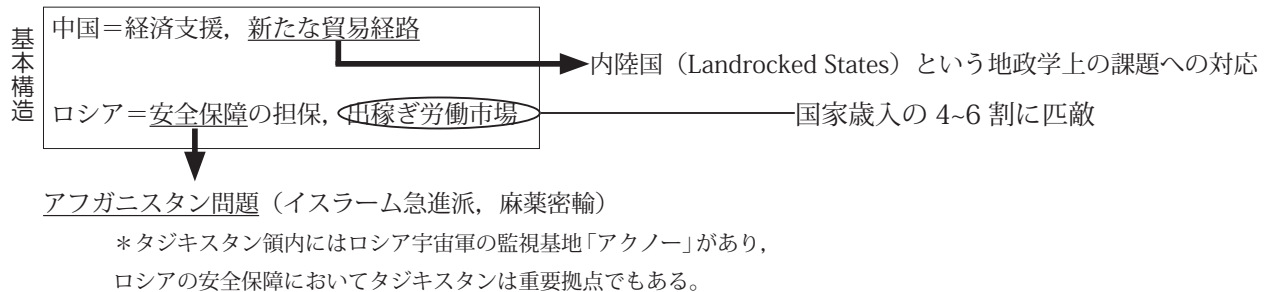
稲垣文昭 秋田大学大学院国際資源学研究所・講師

Email:fumiaki.inagaki@gipc.akita-u.ac.jp



ドゥシャンベ第2火力熱電併給所 2014年1月15日（報告者撮影）

1. タジキスタンからみた中国とロシア



2. 中央アジアにおけるタジキスタンの位置づけ

【表1】中央アジアの経済力と資源確認埋蔵量 2016（資源埋蔵量は2013年）

	一人当たり 実質 GNI (米国ドル)	GDP (10億米国 ドル)	人口 (100万 人)	収入レベル	資源確認埋蔵量	
					原油 (10億 bbl)	天然ガス (1兆立方 ft)
カザフスタン	22,910	133.66	17.8	高中所得	30	85
キルギス共和国	3,410	6.55	6.8	低中所得	0.04	0.2
タジキスタン	3,500	6.95	8.73	低中所得	0.012	0.2
トルクメニスタン	16,060	36.18	5.66	高中所得	0.6	265
ウズベキスタン	6,640	67.22	31.85	高中所得	0.594	65
中央アジア合計		250.56	70.92			

経済指標は世界銀行、資源埋蔵量は米国エネルギー省エネルギー情報局（US EIA）のデータを利用。

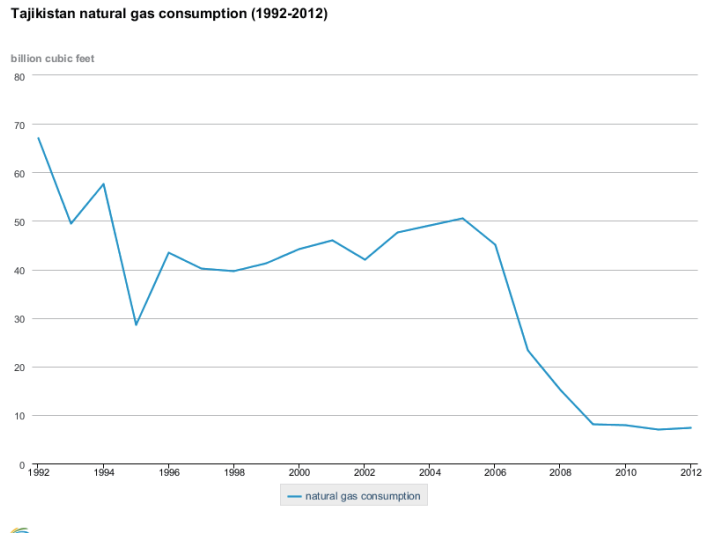
- 中央アジア諸国の経済発展は、石油・天然ガスの賦存量に大きく影響をうける。
- タジキスタンは、石油・天然ガスを持たざる国。だが、鉱物資源（金、銀、銅、モリブデン、アンチモンなど）、石炭、水資源（中央アジアの源泉の60%強）には恵まれる。
- 中央アジア諸国の資源の偏在を（公共財 / 共有財として）調整していたのがソ連であり、そのソ連がなくなったことで資源の再分配メカニズムが機能不全に陥った。

ソ連の代わりは誰が担うのか？ 地域協力、ロシア、中国？

3. 対ウズベキスタン関係の悪化に伴うエネルギー不足

- ウズベキスタンはソ連時代以来の主たる天然ガス供給国。
- ウズベキスタンは、未払金および厳冬時の国内需要の急増を理由にタジキスタン向け天然ガス供給を2007年より断続的に停止。
- 供給停止以前の天然ガス価格は\$300/1000m³
- 天然ガス供給不足により、タジキスタンは代替エネルギーを模索→高まる水力発電依存と石炭利用の模索

【グラフ1】タジキスタンの天然ガス消費量



ウズベキスタンとの対立を激化させる

欧米は石炭の活用に否定的→中国が主な支援国に

4. 中国によるエネルギー支援

- 2006年の南北送電線（500kV）の建設を契機にエネルギーインフラ整備に積極的に関与 :5,000m 級の山の間送電線を整備
- 2011年には、タジキスタンが受けたエネルギー分野における国際支援の70.8%（3,880万ドル）が中国
- 石炭火力発電所建設への支援
- ドゥシャンベ第2石炭火力熱電併給所第1期（100MW）:2014年1月稼働開始
- ドゥシャンベ第2石炭火力熱電併給所第2期（300MW）:2016年12月稼働開始
- 2014年3月4日：CNPCの子会社であるTrans Asia PipelineとTajiktransgazの間で中央アジアパイプライン（トルクメニスタン～中国）のLineD敷設（トルクメニスタン～ウズベキスタン～キルギス～中国）で合意。

- 2018.7.1におけるタジキスタンの対外債務は年初より1,400万ドル増加の28.93億ドル（2017年度のGDPの40.3%）。
- 中国輸出入銀行の債務が最も多く12億ドル（国債が5億ドル、WBが3億1,800万ドル、ADBが2億7,800万ドル、イスラーム開発銀行が1億1,200万ドル）

鉦山利権を中国に明け渡すことで返済に充てる



中国が建設した「シャフリスタントンネル（標高約2,200m）」同トンネルの完成で、冬季に北部ソグド州と首都ドゥシャンベ間の陸路での移動が可能となった。また、500V 高圧電線も並行して敷設されている。

5. 近年の両国関係

2017年8月31日～9月4日 ラフモン大統領の公式訪問＋BRICSサミット参加

1. 包括的パートナーシップ関係構築についての共同宣言

- 人的資源分野における協力（タジキスタン労働・移民・雇用省と中国商務部）
- 農業部門における協力（タジキスタン農業省と中国農業部）
- インフラ部門における協力（タジキスタン経済発展貿易省と中国商務部）
- 公的部門における財務管理（タジキスタン会計院と中国審計署）
- 建設資材（セメントなど）、綿花製品、鉱山資源開発分野（金、銅、錫、石炭など）における協力。
- アフガニスタン問題を含む、対テロ、安全保障問題での協議。
- インテリジェンス分野での協力
など

アフガン国境線の監視ポストの改修および中国、タジキスタン、アフガニスタンによる合同国境管理を実施。

2018年9月6日

タジキスタンを訪問した許其亮国家中央軍事委員会副主席がミルソ国防大臣、ラフモン大統領とアフガニスタン国境防衛、急進主義・原理主義、麻薬密輸対策についての協力について合意。

2. 「一帯一路」への言及

- 一帯一路の枠組みに基づく貿易と経済協力の推進。
- 金融と銀行システムにおける協力
- 中規模水力発電への中国の支援
- タジキスタンアルミニウム（TALCO）への投資。
- 中国～キルギス～タジキスタン～アフガニスタン～イランを結ぶ鉄道建設→「大シルクロード」の南部の復活。

3. 西安石油大学での学部教育の提供

- 3年間で総計100名のタジク人学生（学士課程）を受け入れ。
- パイプライン設備・メンテナンスについての教育→中央アジアパイプライン LineDに加えて、ウズベキスタンからの天然ガス供給再開を想定？
- その他、中国が600名のタジク人留学生を受け入れ。

4. タジキスタン議会および政府新庁舎建設への支援

- 中国はタジキスタンに対し議会および政府新庁舎建設に2億1,500万ドルを支援。
- 2018年10月28日に、両国政府は1億3,000万ドルの追加支援（輸送、情報通信サービス、教育・文化も対象）。

5. 拡大する両国貿易（2018.5.23、ズーフロフ下院議長とアルケン・イミルパキ全人代常務委員会副委員長との会談）

- 両国の貿易額は、2020年までに2017年の6億ドルの5倍となる30億ドルを超える見通し。
- 中国は、10億ドルを超える資金をタジキスタンの戦略的な投資計画に沿って投資している最大の投資国。
- 中国は、タジキスタンでターンキープロジェクトでの企業立ち上げを志向している。既に、電力、製鉄、非鉄金属、観光インフラ、農業、タバコ生産に投資済み。
- タジク商工会議所によればタジキスタンに展開する中国資本の企業は70社、中国企業は200社。タジキスタン国内の投資の50%は中国資本。
- 国家財産投資管理委員会によれば、中国からタジキスタンへの直接投資は10億ドル超、2017年の二カ国間貿易は6億ドル、2018年の1-8月期の貿易額は4.34億ドル。

6. 中央アジア・南アジア地域電力市場

Central Asia South Asia Regional Electricity Market (CASREM)

2005 年より、ADB、EBRD、国際金融公社、イスラム開発銀行、世界銀行などの国際金融機関とキルギス、タジキスタン、アフガニスタン、パキスタンの 4 カ国がキルギス、タジキスタンの水力発電所電所からの電力輸出を計画

CASA1000 (中央アジア・南アジア間の電力貿易・送電計画: Central Asia South Asia Regional Electricity and Trade Project)

2007 年に合意された CASREM の中心プロジェクトとして、世界銀行と ADB が中心隣 1300Mw の高圧電力網の整備。2009 年に ADB が撤退し、USAID がその代わりに担う。



- アフガニスタンの電力インフラは長期の内戦と運用上の問題により機能不全に陥っており、公的な電力供給を受けているのは全国民の 20%、しかもその供給は日数も時間も限定されている。
- アフガニスタンの農民の主な収入源である芥子栽培撲滅の為には、農村部開発は不可欠であり、軽工業発展のために電力は不可欠。
- 2007 年のアフガニスタンの電力総消費量 (652Mw) の内、約 25% (167Mw) を輸入
- 2014 年 7 月よりパキスタンは、1000MW をタジキスタンから輸入。将来的には 5000MW まで増加させることを希望。

経済政策というよりも安全保障政策

資金は、世銀、USAID, イスラム開発銀行だが、入札業者は中国とインドが大半を占める。

7. ウズベキスタンの政権交代の影響

カリモフ大統領の死去 (2016 年 9 月)

- 近隣諸国との軋轢水資源分配を巡るキルギスとタジクとの対立
- IMF や EBRD から距離をとる独自路線
- マルチよりバイを重視する外交政策



ミルジョエフ大統領の就任

- 周辺諸国との関係修復を重視
- キルギスのカンバラタ水力発電所への出資
 - タジキスタンの水力発電所への出資 (≠ロゲン水力発電所)
 - タジキスタンとの送電線再接続や天然ガス供給再開についての協議
←エネルギー政策の転換 (水力発電を農業省から分離)
- 一带一路の重要視
- 中央アジア域内の協力関係・統合重視から中央アジア首脳会合の定期的開催を提案。←「一带一路」の枠組みを示唆。
 - CSTO (集団安全保障条約機構) やユーラシア経済同盟などロシア主導の枠組みへの加盟意思はない (11 月 10 日、カミーロフ外務大臣)。

7.まとめ

- タジキスタンのエネルギー資源開発において中国は不可欠な存在（代替となる国家がない）。米国が支援する CASA-1000 でも、中国企業による応札が多く、中国が建設したインフラを利用している。
- CASA-1000 プロジェクトは、経済政策としてだけでなく安全保障政策の文脈でも捉えるべきプロジェクト。なお、ロシアは CASA1000 の事業体化には参加しているが、タジキスタンのエネルギー事業に直接的な支援を行なったのは 2004 年のサングトゥーダ水力発電所が最後である。
- ウズベキスタンとタジキスタンの関係が改善すると、中央アジアの電力供給を巡る国際関係は調和に転じる可能性がある。その際、一帯一路がその基盤（資金・技術支援）として利用されると中国の影響力が石油・ガスパイプラインだけではなく増加する可能性も。
- 中国は、タジキスタンとウズベキスタンの対立要因の一つであった水力発電所事業や TALCO への支援も行うなど、ミルジョエフ政権誕生の後のウズベキスタンの対タジク政策の変化に対応している。
- 中央アジア諸国は、ソ連解体で中央司令型経済に基づくエネルギー再分配のためのメカニズム（公共財）が消失したことで混乱してきた。中国の支援は、エネルギーインフラの再構築を促すものであり弱体化したロシアに代わり中国が国際公共財を提供する地域覇権国として中央アジアにおける影響力を拡大する可能性は高い。
- 従来、安全保障はロシア、経済は中国という住み分けがあると考えられてきたが、タジキスタン国境防衛や対イスラム原理主義などではすでに中国とタジキスタンの協力関係が始まっており安全保障分野においても中国が役割を強化しつつある。
- 一帯一路は、中央アジアのエネルギーインフラの再構築と域内協力を推し進めるための土台となっている。また、安全保障においても、輸送路整備という観点からも重要である。

資料1 中央アジアの貿易 IMF のデータをもとに作成

中央アジア各国の輸入相手国（100万ドル） 上段 2016/ 下段 2017 年					
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
カザフスタン	ロシア (9,288.31)	中国 (3,668.03)	ドイツ (1,442.64)	米国 (1,277.05)	イタリア (835.73)
	ロシア (11,336.45)	中国 (4,691.46)	ドイツ (1,478.88)	米国 (1,253.31)	イタリア (944.97)
キルギス	中国 (1,464.96)	ロシア (799.82)	カザフスタン (635.55)	トルコ (190.78)	米国 (153.61)
	中国 (1,493.69)	ロシア (1,232.49)	カザフスタン (520.30)	トルコ (224.85)	ウズベキスタン (163.61)
タジキスタン	ロシア (1,203.81)	カザフスタン (684.74)	中国 (373.76)	ウズベキスタン (200.81)	イラン (198.87)
	ロシア (1,179.00)	カザフスタン (577.45)	中国 (288.98)	ウズベキスタン (144.92)	イラン (111.61)
トルクメニスタン	トルコ (1,315.96)	ロシア (604.81)	日本 (430.19)	ドイツ (411.51)	韓国 (392.12)
	トルコ (1,100.26)	アルジェリア (652.86)	ドイツ (436.99)	中国 (403.24)	ロシア (364.90)
ウズベキスタン	中国 (2,182.64)	ロシア (2,082.95)	韓国 (1,025.82)	カザフスタン (980.71)	トルコ (565)
	中国 (2,700.64)	ロシア (2,564.17)	韓国 (1,156.71)	カザフスタン (975.27)	トルコ (594.49)

中央アジア各国の輸出相手国（100万ドル） 上段 2016/ 下段 2017					
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
カザフスタン	イタリア (7,481.66)	中国 (4,228.41)	ロシア (3,445.18)	オランダ (3,255.80)	スイス (2,442.79)
	イタリア (8,670.25)	中国 (5,773.39)	オランダ (4,748.18)	ロシア (4,479.32)	スイス (3,100.69)
キルギス	スイス (648.02)	カザフスタン (151.15)	ロシア (145.21)	ウズベキスタン (125.07)	トルコ (89.98)
	スイス (489.26)	カザフスタン (266.19)	ロシア (265.23)	英国 (191.17)	ウズベキスタン (146.29)
タジキスタン	トルコ (215.60)	ロシア (133.73)	中国 (114.17)	スイス (75.75)	イラン (50.54)
	トルコ (262.79)	中国 (169.00)	ロシア (127.92)	スイス (119.67)	アルジェリア (78.04)
トルクメニスタン	中国 (5,248.39)	イタリア (398.71)	トルコ (398.58)	アフガニスタン (335.28)	ロシア (312.46)
	中国 (6,202.95)	トルコ (380.71)	イタリア (120.67)	ジョージア (112.82)	バングラデシュ (112.47)
ウズベキスタン	スイス (2,701.52)	中国 (1,515.97)	ロシア (716.26)	トルコ (669.14)	カザフスタン (554.52)
	不明 (3,466.46)	中国 (1,590.49)	ロシア (1,527.35)	カザフスタン (991.31)	トルコ (833.51)

資料2 中央アジアの電力網

